

令和 5 年度 広島大学留学生の学習と生活に対する支援調査結果概要報告

はじめに

本報告は、令和 6 年 2 月に実施した本学の留学生対象のアンケート調査「広島大学留学生の学習と生活に対する支援調査」の結果を集約したものである。

広島大学には 2,000 人以上の留学生が在籍しており(アンケート開始時点)、彼らが直面する生活・修学上の多様な課題を解決すべく、留学生支援ネットワークは定期的に連絡会議を開催し、情報共有および支援体制の構築に努めている。そこで議論される対象は多岐にわたり、効果的・効率的な留学生支援のためには状況把握が重要であるという共通認識のもと、今年度も留学生に対する支援調査を実施することとなった。

本調査の内容および構成は、留学生支援ネットワークのメンバーによって作成され、本学学生向け情報ポータルサイト「もみじ」内の「アンケート」機能を用い、全留学生を対象に調査を行った。

令和 5 年度の留学生支援ネットワークメンバーは以下のとおりである。

ハラスメント相談室

保健管理センター

アクセシビリティセンター

グローバルキャリアデザインセンター

学生生活支援グループ

霞地区運営支援部国際室

留学生担当教員

グローバル化推進グループ(※現 留学交流グループ(令和6年4月～))

I. アンケートの調査方法と内容

アンケート調査は広島大学に在籍する全留学生 2,051 名を対象とし、回答数は 237 であった(回答率は約 12%)。

アンケート調査項目は日本語と英語を併記した。

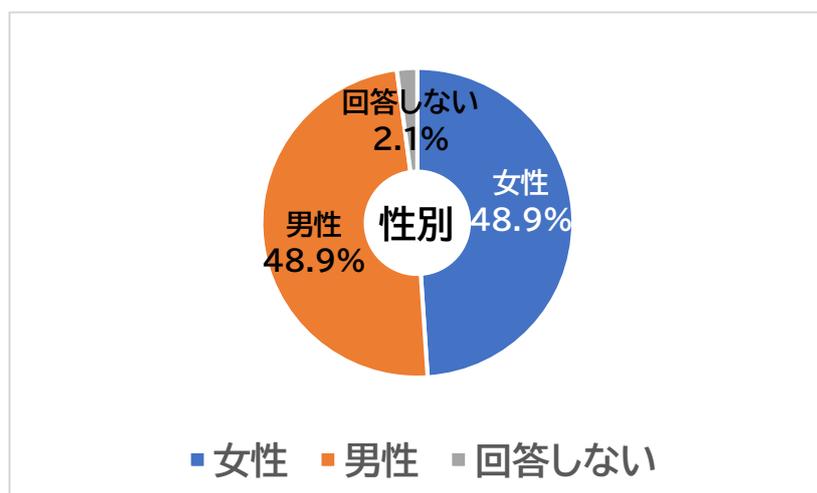
内容は 6 つに分かれており、(1)一般的な質問、(2)コミュニケーション言語について、(3)広島大学と指導教員について、(4) 学生生活支援について、(5) 広島大学における学習・生活に関する満足度、(6)進路希望(就職先の希望)、(7) 自由記述である。

回答者は、質問によって対象者が異なっていること、一部の質問にのみ無回答の場合などもあることから、質問によって全回答者数に違いがある。

II. アンケート調査結果

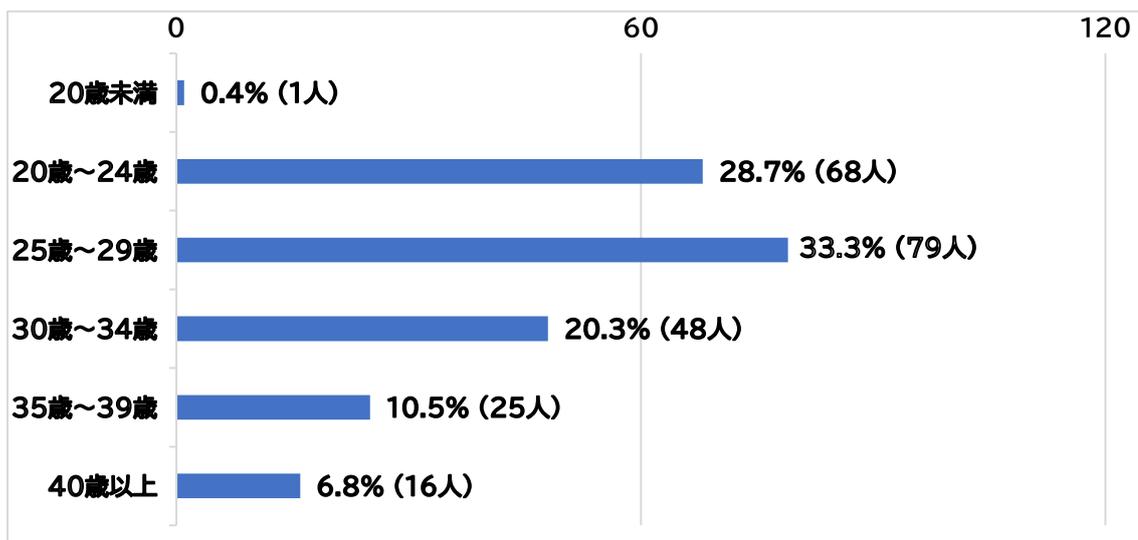
1. 一般的な質問

1.1 性別 (有効回答 237)



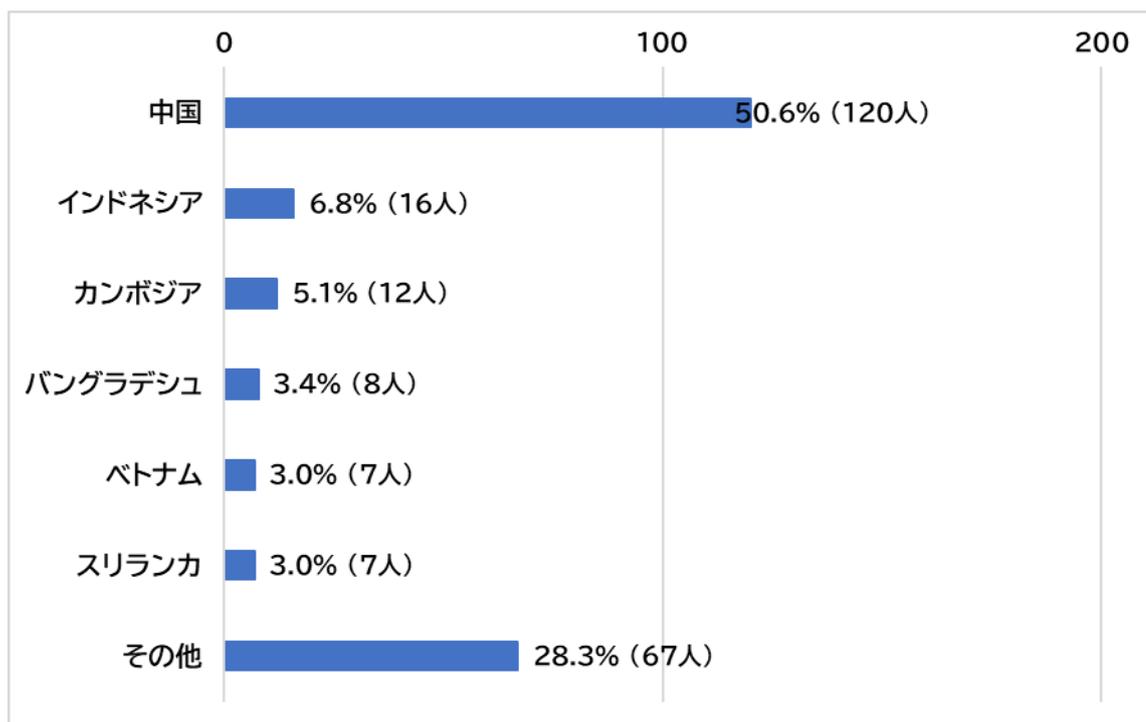
回答者の内訳は女性 116 名、男性 116 名、回答しないが 5 名であった。例年、男性の回答率が低い傾向にあったが、今年度は同じ回答率となった。

1.2 年齢（有効回答 237）



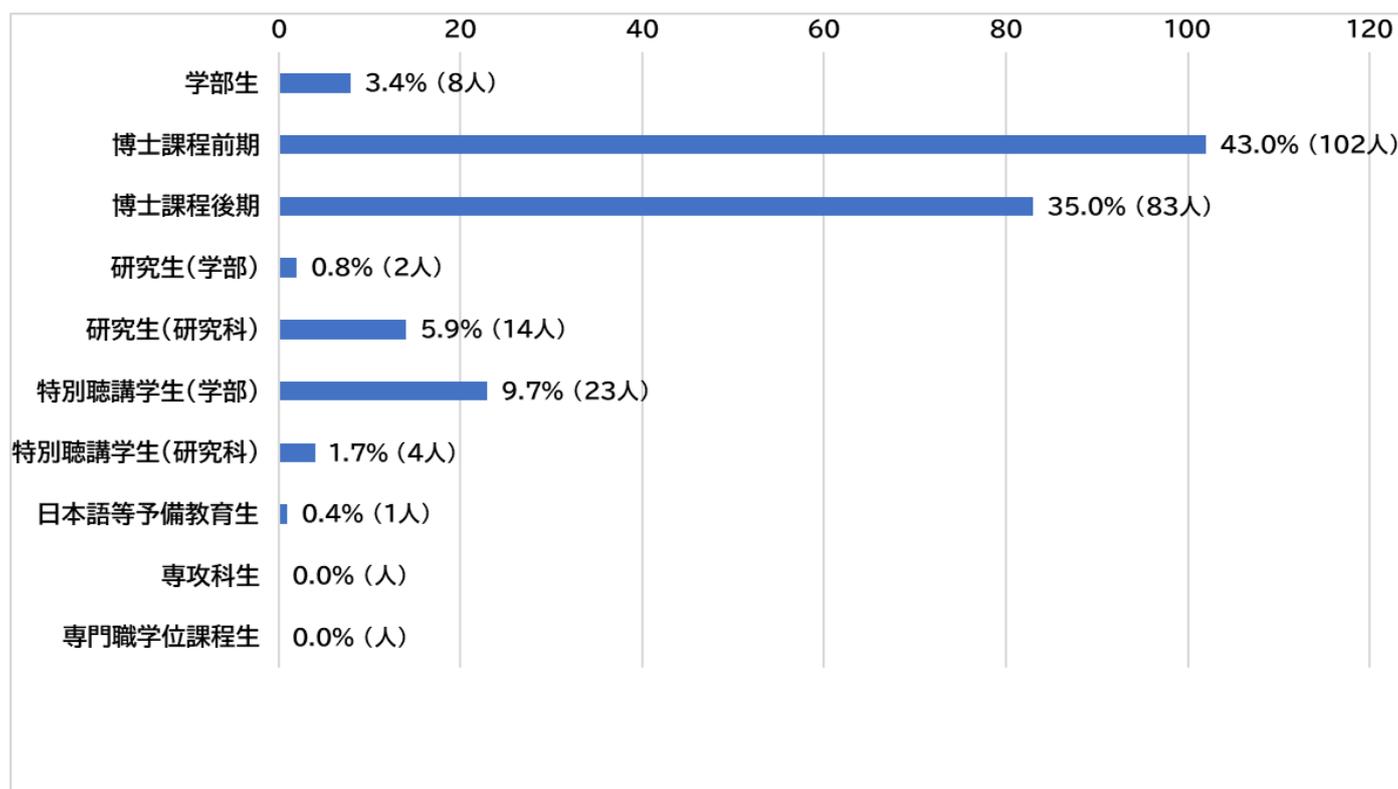
昨年度同様の分布が見られ、20代が回答者の6割以上を占める結果となった。

1.3 出身国・地域（有効回答 141）



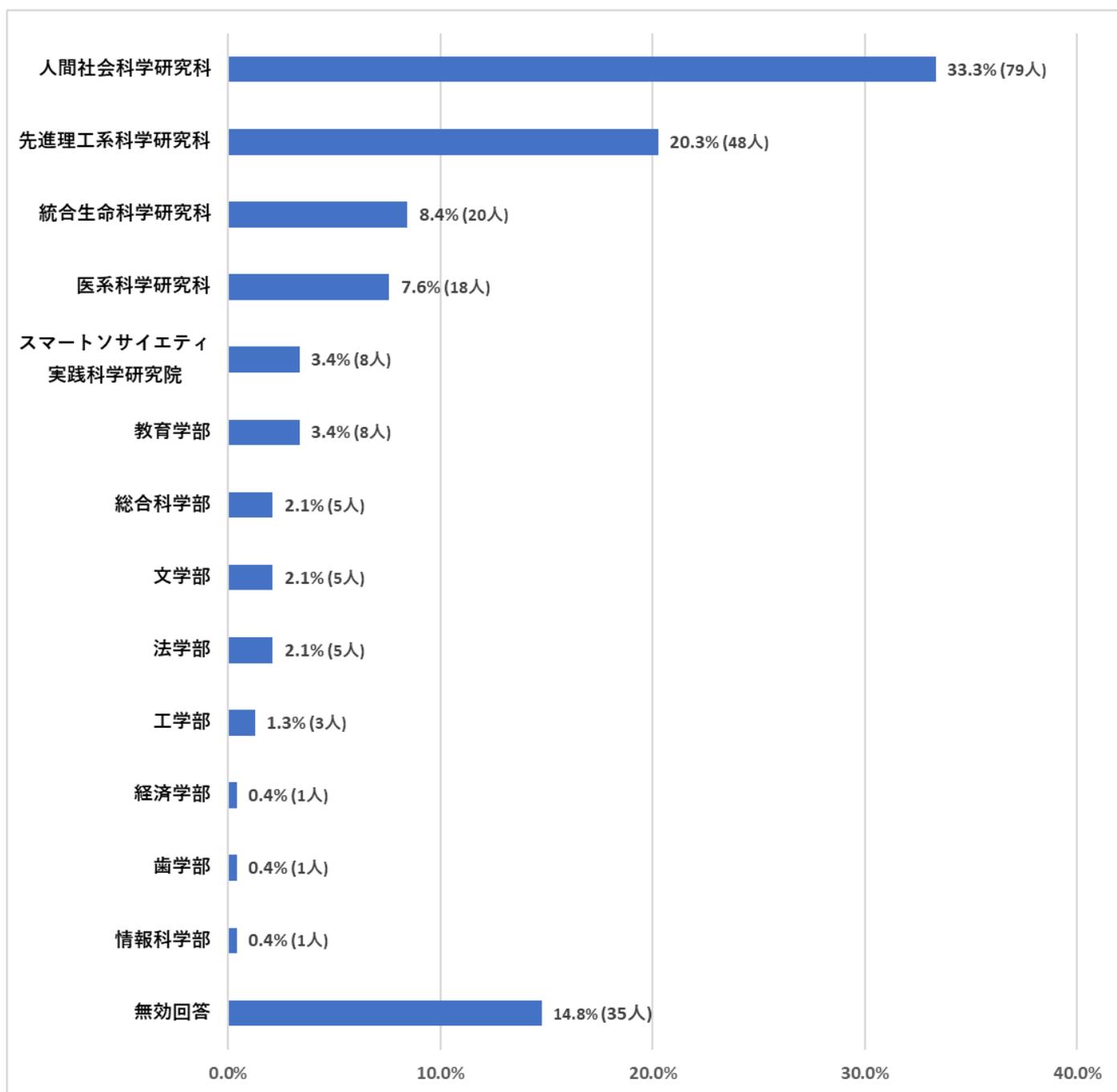
例年通り中国が半分以上を占め、中国に続いて東南アジア地域出身の学生が高い傾向が見られた。

1.4 学籍（有効回答 237）



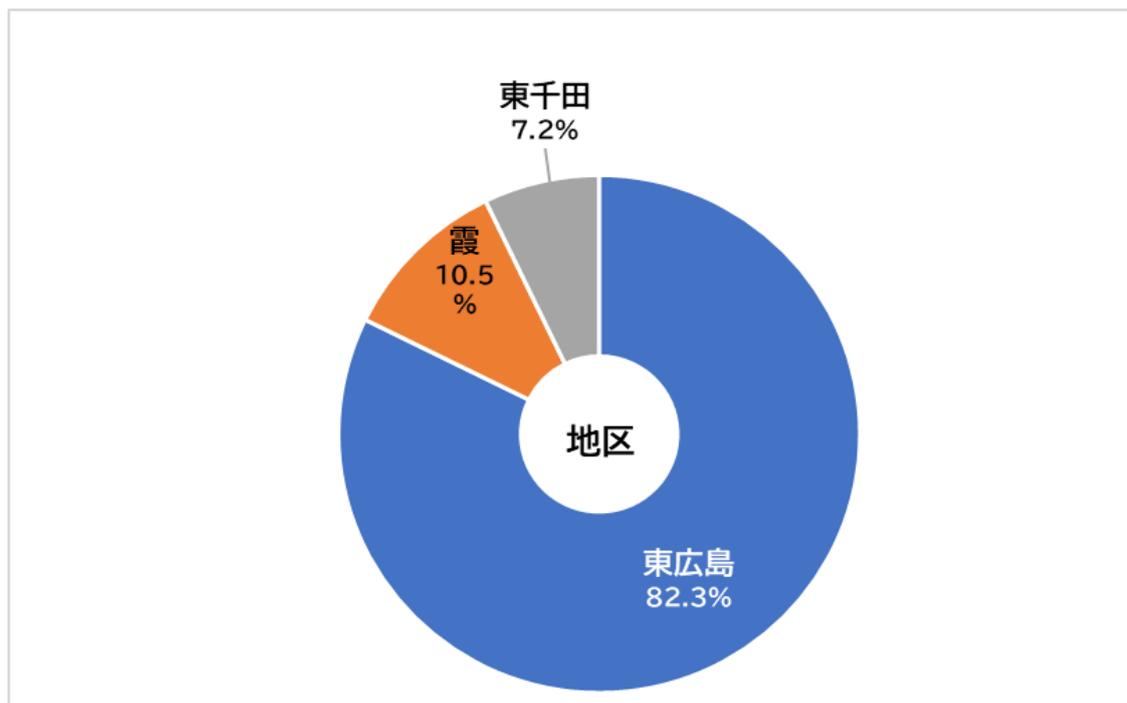
昨年度同様、全体の約 8 割が大学院課程に在籍する学生からの回答であった。

1.5 所属（有効回答 142）



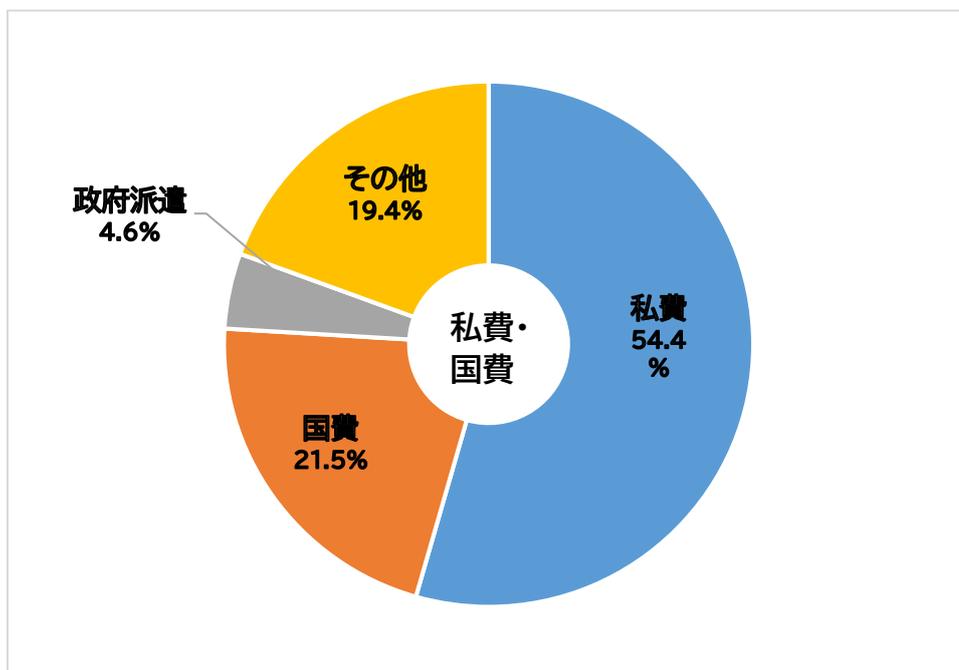
昨年度と比較して、人間社会科学研究所及び先進理工系科学研究科に所属する学生からの回答が増加した(昨年度は、人間社会科学研究所 17.8%、先進理工系科学研究科 6.6%)。また、学士課程に在籍する学生からの回答が増えたことで学部生回答者の所属学部が多様化し、昨年度は3つの学部(総合科学部、文学部、教育学部)に所属する留学生からのみ回答があったのに対して、今年度は7つ(総合科学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部、歯学部、工学部、情報科学部)の学部所属する留学生からの回答が得られた。

1.6 地区（有効回答 237）



全体としての傾向に変化はないが、今年度は東千田地区で学ぶ留学生の割合が増加した（昨年度の東千田地区の割合は 1.4%）。

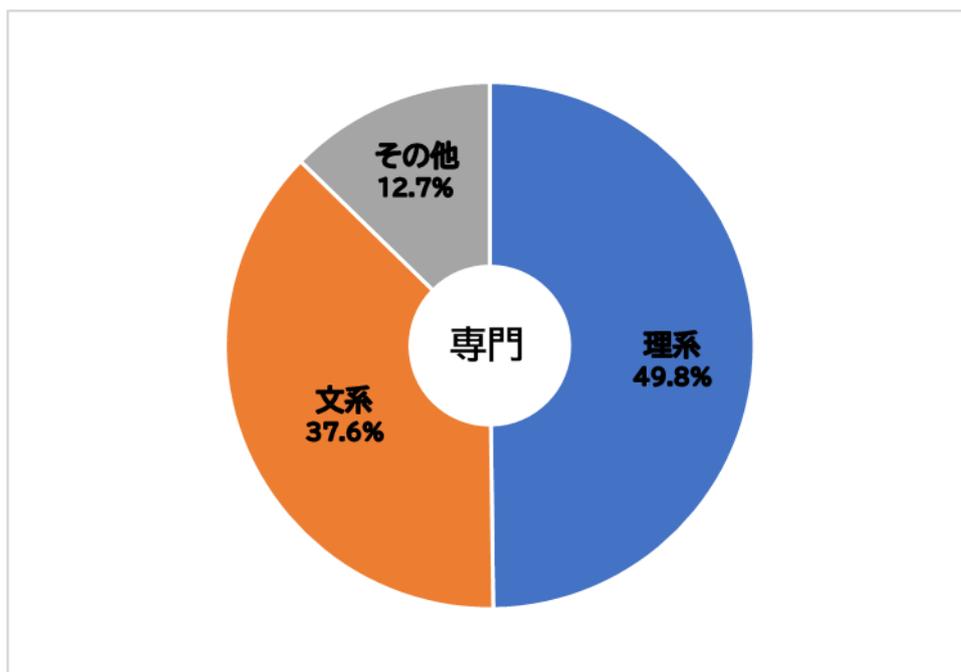
1.7 私費・国費（有効回答 237）



回答者の割合はグラフのとおり。

令和5年 11月 1日時点では、全体の約 7割が私費留学生（その他奨学金を含む）、国費留学生 21.8%、政府派遣留学生が 3.5%であり、その数値と今年度の数値を比較して大きな変化は見られなかった。

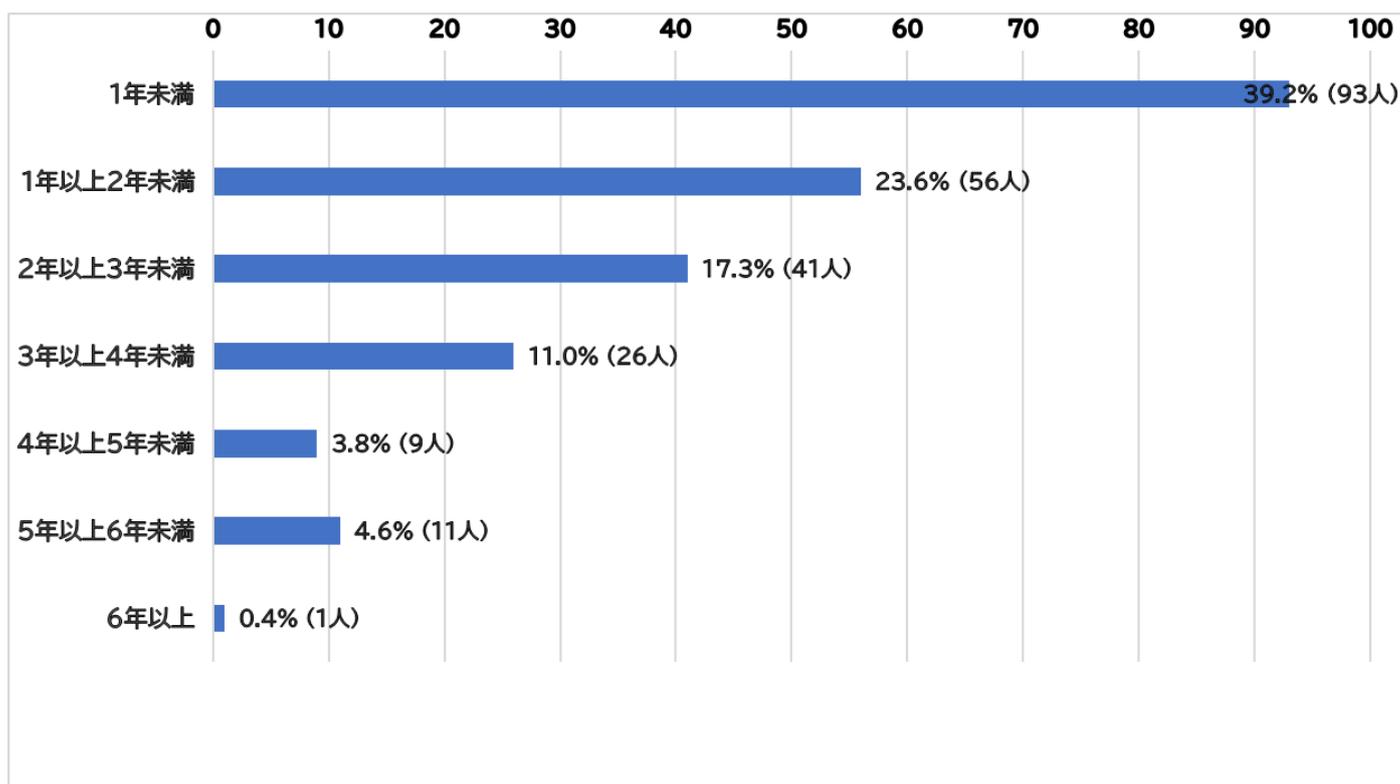
1.8 専門（有効回答 237）



昨年度同様、理系分野の回答者が半数を占め、文系分野の回答者が4割程度となった。

一昨年度以前は、文系分野の回答者が半数を占めていたが、昨年度この傾向が逆転し、今年度も引き続き理系分野の回答者が多い傾向が見られた。

1.9 広島大学での在籍年数（有効回答 237）

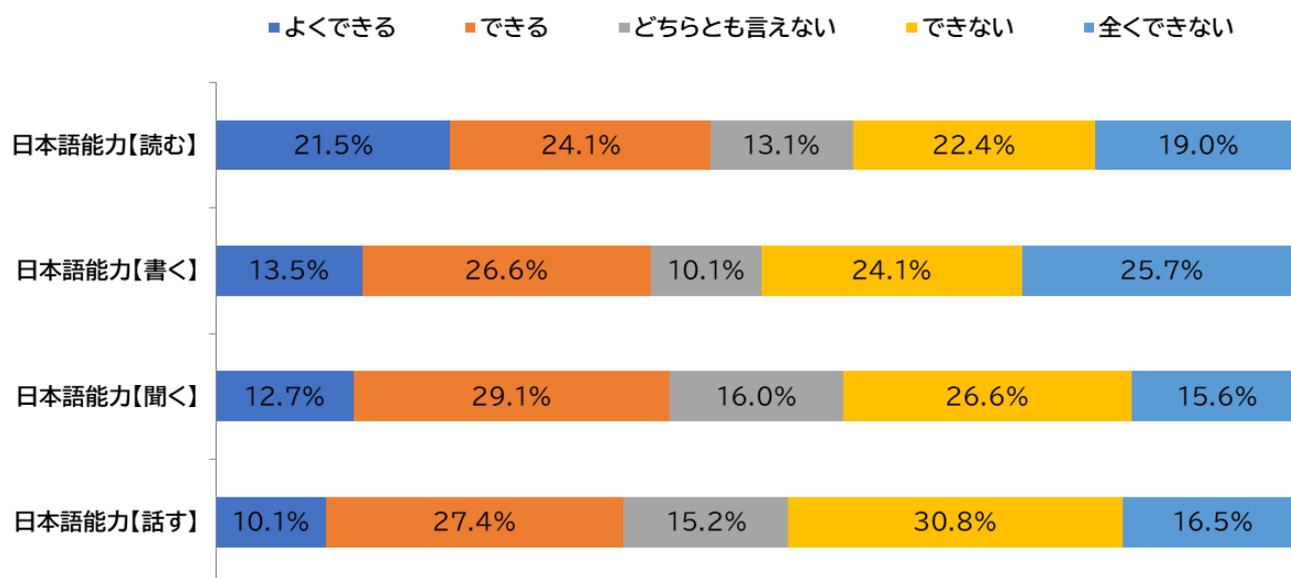


在籍年数が3年未満の回答者が全体の約8割を占めた。

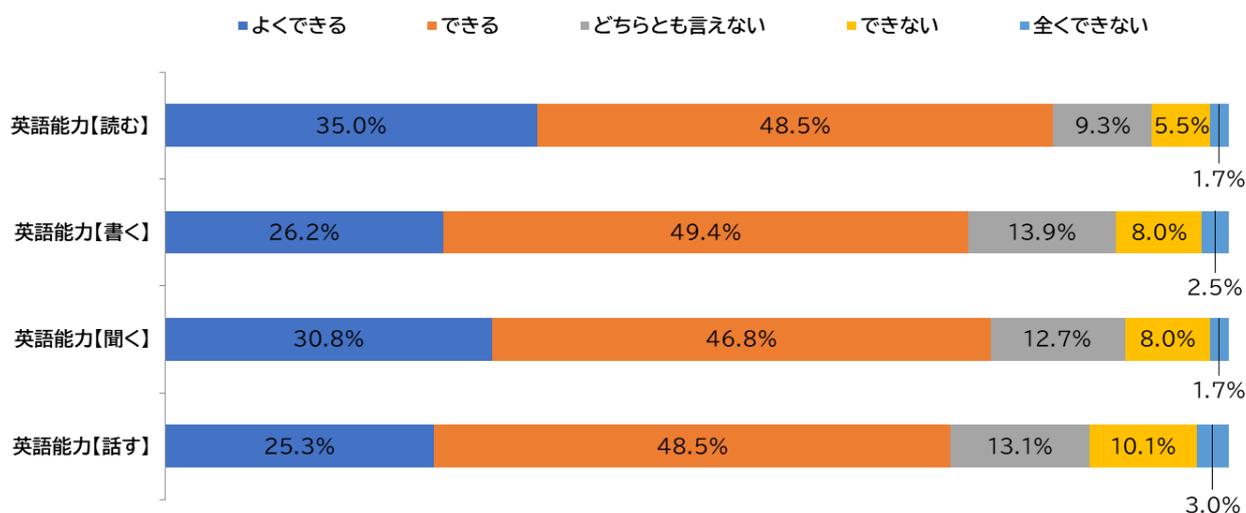
昨年度は在籍年数が6年を超える回答者の割合が約10%となり、一昨年度以前の傾向（1%程度）と比べて大幅に増加したが、今年度は在籍年数が6年を超える回答者の割合は例年通り（0.4%）となった。

2. コミュニケーション言語について

2.1 あなたの日本語能力はどのくらいですか？(有効回答 237)

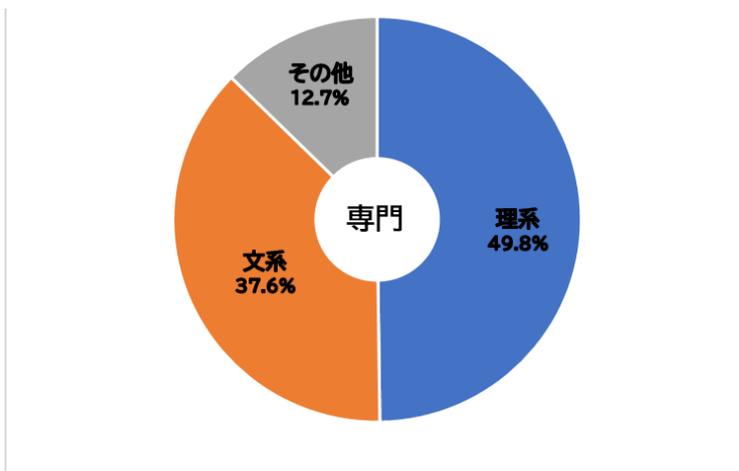


2.2 あなたの英語能力はどのくらいですか？(有効回答 237)



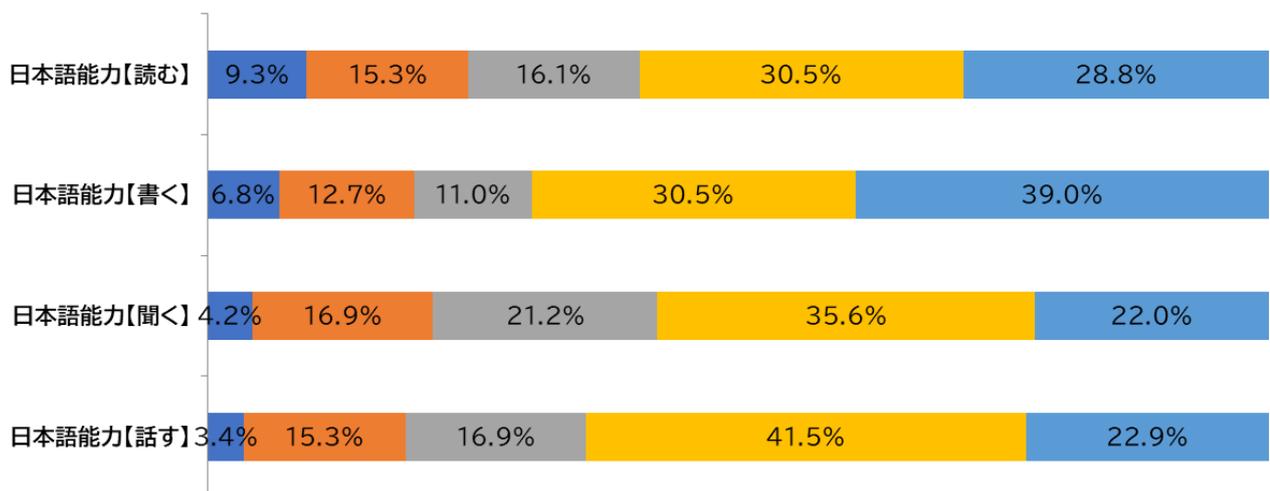
「できない」もしくは「全くできない」と答えた学生の割合は、英語においてはいずれの技能でも 10%程度に留まった。昨年度調査では日本語の4つの技能において「できない」もしくは「全くできない」と回答した回答者が 40%程度であったが、今年度調査ではいずれの技能においても 50%程度にやや増加している。以下のグラフのとおり、6割を超える理系の回答者が、日本語のいずれの技能についても「できない」もしくは「全くできない」と回答していることから、昨年引き続き理系の回答者の割合が文系の回答者の割合に比べて大きいことが、この結果に寄与した可能性が考えられる。

回答者の専攻分野(有効回答 237)



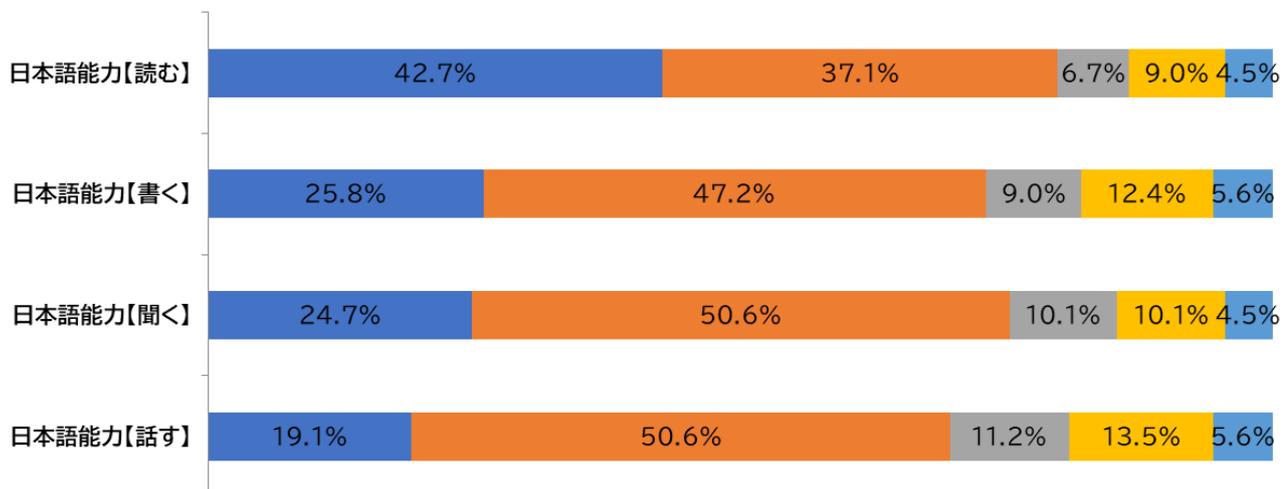
理系の回答者の日本語能力(有効回答 118)

■よくできる ■できる ■どちらとも言えない ■できない ■全くできない



文系の回答者の日本語能力(有効回答 89)

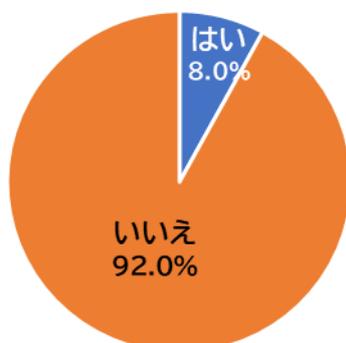
■よくできる ■できる ■どちらとも言えない ■できない ■全くできない



3.広島大学と指導教員について

3.1 あなたは留学フェアに参加したことがありますか？(有効回答 237)

【回答者全体】



昨年度調査同様、およそ 9 割の学生が留学フェア参加経験「なし」と回答した。留学フェアは 2022 年度以降、コロナ禍でのオンライン開催から、対面での開催に移行したが、回答者のうち留学フェアに参加したことがある者の割合はコロナ禍前後を通じて大きな変化は見られていない。

また、身分別では、博士課程前期における留学フェア参加経験者の人数が最多となった。

| | | はい | | いいえ | | 計 |
|-----------|--------|------|------|------|-------|------|
| | | n(人) | % | n(人) | % | n(人) |
| 全体 | | 19 | 8.0 | 218 | 92.0 | 237 |
| 学籍 | 学部生 | 1 | 12.5 | 7 | 87.5 | 8 |
| | 博士課程前期 | 10 | 9.8 | 92 | 90.2 | 102 |
| | 博士課程後期 | 5 | 6.0 | 78 | 94.0 | 83 |
| | 研究生 | 1 | 6.3 | 15 | 93.8 | 16 |
| | 特別聴講学生 | 2 | 7.4 | 25 | 92.6 | 27 |
| | その他 | 0 | 0.0 | 1 | 100.0 | 1 |
| 私費・ 国費 | 私費 | 6 | 4.7 | 123 | 95.3 | 129 |
| | 国費 | 7 | 13.7 | 44 | 86.3 | 51 |
| | 政府派遣 | 1 | 9.1 | 10 | 90.9 | 11 |
| | その他 | 5 | 10.9 | 41 | 89.1 | 46 |

3.2 あなたは、どんな情報をもとに広島大学を選びましたか？(複数回答可)

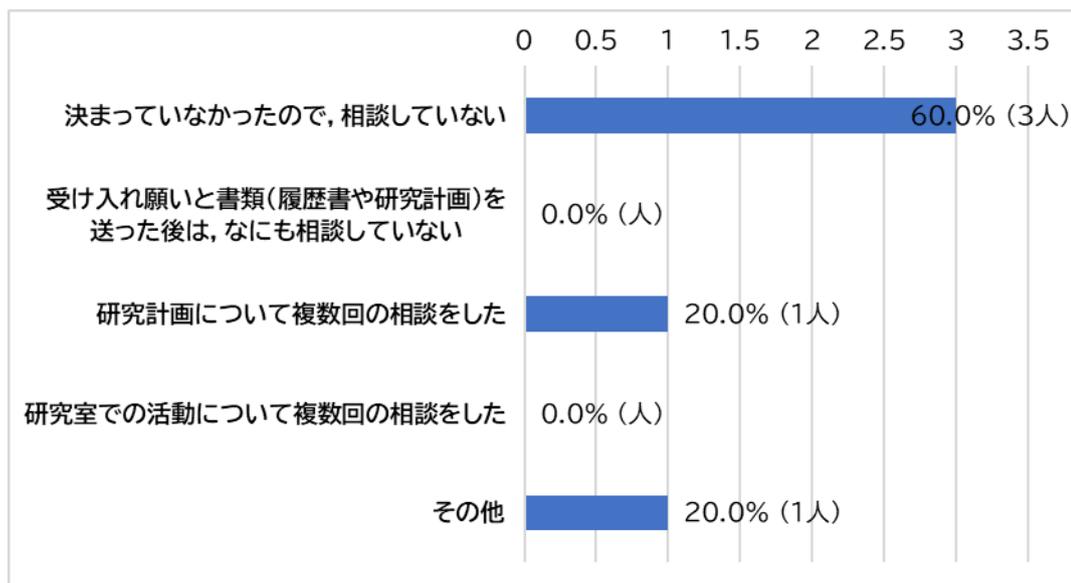
| | 広島大学 HP | | 出身大学からの紹介 | | 友人・知人からの紹介 | | 日本留学フェアなど | | その他 | | 計 | |
|-------|---------|------|-----------|------|------------|------|-----------|-----|------|------|------|-----|
| | n(人) | % | n(人) | % | n(人) | % | n(人) | % | n(人) | % | n(人) | |
| 全体 | 87 | 36.7 | 76 | 32.1 | 93 | 39.2 | 14 | 5.9 | 57 | 24.1 | 237 | |
| 学籍 | 学部生 | 4 | 50.0 | 0 | 0.0 | 1 | 12.5 | 2 | 25.0 | 3 | 37.5 | 8 |
| | 博士課程前期 | 45 | 44.1 | 30 | 29.4 | 38 | 37.3 | 5 | 4.9 | 22 | 21.6 | 102 |
| | 博士課程後期 | 24 | 28.9 | 20 | 24.1 | 42 | 50.6 | 4 | 4.8 | 24 | 28.9 | 83 |
| | 研究生 | 8 | 50.0 | 5 | 31.3 | 7 | 43.8 | 0 | 0.0 | 4 | 25.0 | 16 |
| | 特別聴講学生 | 5 | 18.5 | 21 | 77.8 | 5 | 18.5 | 3 | 11.1 | 4 | 14.8 | 27 |
| | その他 | 1 | 100.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 |
| 私費・国費 | 私費 | 46 | 35.7 | 51 | 39.5 | 50 | 38.8 | 8 | 6.2 | 22 | 17.1 | 129 |
| | 国費 | 20 | 39.2 | 13 | 25.5 | 20 | 39.2 | 0 | 0.0 | 14 | 27.5 | 51 |
| | 政府派遣 | 8 | 72.7 | 3 | 27.3 | 5 | 45.5 | 3 | 27.3 | 1 | 9.1 | 11 |
| | その他 | 13 | 28.3 | 9 | 19.6 | 18 | 39.1 | 3 | 6.5 | 20 | 43.5 | 46 |
| 専門 | 理系 | 43 | 36.4 | 32 | 27.1 | 49 | 41.5 | 8 | 6.8 | 33 | 28.0 | 118 |
| | 文系 | 31 | 34.8 | 42 | 47.2 | 32 | 36.0 | 5 | 5.6 | 11 | 12.4 | 89 |
| | その他 | 13 | 43.3 | 2 | 6.7 | 12 | 40.0 | 1 | 3.3 | 13 | 43.3 | 30 |

「友人・知人からの紹介で本学を選んだ」と回答した割合が全体で最も高くなっている。特に、例年の傾向として、国費留学生においては友人や知人からの紹介で本学を選んだ学生の割合が高くなるが、今年度も同様の傾向が見られた。出願プロセスが特殊なため、身近に国費留学生として日本の大学に在籍している知人がいる場合等は助言等を受けやすいことから、出願経験のある友人・知人の存在が出願に繋がっている可能性がある。ただし、今年度の特徴として、本学の HP を見て本学を選んだ学生の割合が友人・知人からの紹介で本学を選んだ学生の割合と同様に高くなっている。優秀な国費留学生の獲得という観点からも、友人・知人の中に国費留学生として出願した経験がある者がいない学生であっても、IAAS やウェブサイト等での情報提供を通じて出願してもらうことが引き続き重要である。

学籍や留学資金源(私費・国費)、専門ごとに異なる傾向がみられるが、特に友人・知人からの紹介が全体的に重要な役割を果たしていることがうかがえる。

3.3 あなたは来日前に指導教員とどのような相談をしましたか？(複数回答可)

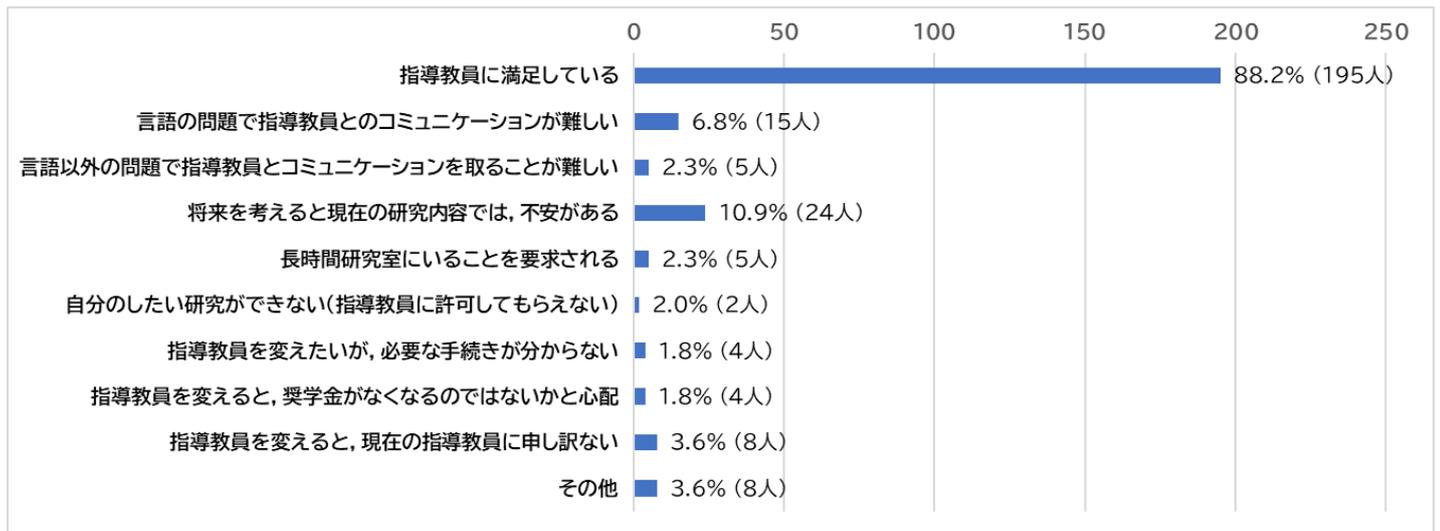
【回答者全体】



本設問は、指導教員がいる人のみが回答対象となっており、回答が必須となっていないことから、回答者数が極端に少なくなっている(n=5)。昨年度調査の本設問への回答者(n=142)と比較しても極端に少ないことから、質問の意図が伝わっていなかった可能性がある。本設問への回答を必須とすることも含めて、設問の設定を検討する必要がある。

3.4 指導教員との関係において、次のうちどれがあなたにあてはまりますか？(複数回答可)

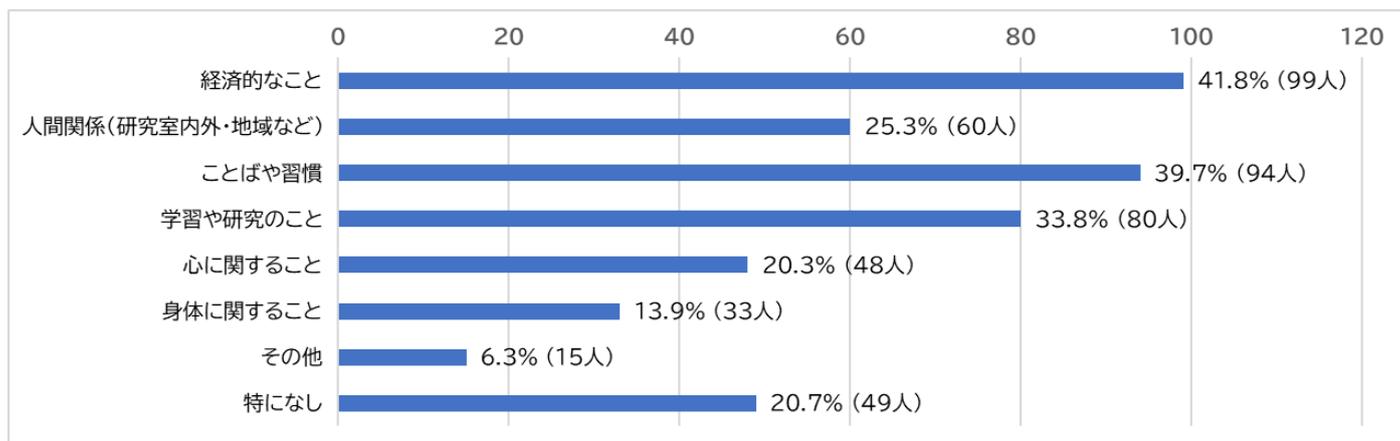
【回答者全体】



全体で 88.2%の学生が指導教員に満足していると回答しており、指導教員との関係は多くの学生にとって良好であることがうかがえる。指導教員との関係において学生が抱えている問題の中で最も割合が大きかったものは将来への不安(「将来を考えると現在の研究内容では、不安がある」 10.9%)、次いで言語の問題に起因するコミュニケーションの課題(「言語の問題で指導教員とのコミュニケーションが難しい」 6.8%)となった。当該二項目に回答した学生の割合は、昨年度と比較して増加している(昨年度はそれぞれ 1.4%)。

4. 学生生活支援について

4.1 学生生活の中で困っていることがありますか？（複数回答可）



全体の傾向としては、経済的なこと、ことばや習慣に関すること、学習や研究に関することが最も多い困りごとである。

ただし、学生の属性（学籍、資金源（私費・国費）、専門分野）によって異なる傾向が見られた。属性別の主な傾向は以下の通りである。

（学籍別の傾向）

- ・博士課程後期の学生は、経済的な問題（50.6%）やことばや習慣（43.4%）に関する問題が特に多い。
- ・特別聴講学生は、学習や研究（48.1%）に関する問題が最も多く、次いでことばや習慣（40.7%）が挙げられている。

（私費・国費別の傾向）

- ・私費留学生は、経済的な問題（55.0%）が特に多く、次いで学習や研究（38.8%）に関する問題が挙げられている。
- ・国費留学生は、ことばや習慣（45.1%）に関する問題が最も多い。

（専門別の傾向）

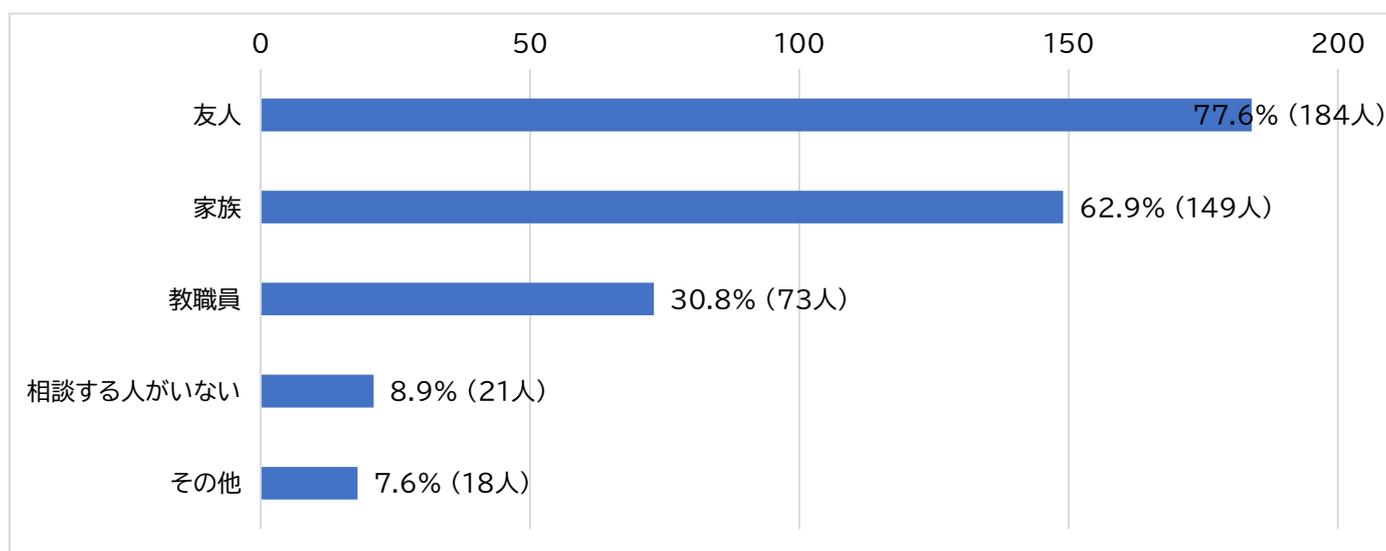
- ・理系の学生は、ことばや習慣（45.8%）に関する問題が最も多く、次いで経済的な問題（39.8%）が挙げられている。
- ・文系の学生は、経済的な問題（46.1%）が最も多く、次いで学習や研究（38.2%）に関する問題が挙げられている。

| | 経済的なこと | | 人間関係(研究室内外・地域など) | | ことばや習慣 | | 学習や研究のこと | | 心に関すること | | 身体に関すること | | その他 | | 特になし | | 計 n(人) | |
|-------|--------|------|------------------|------|--------|------|----------|------|---------|------|----------|------|------|-----|------|------|-----------|-----|
| | n(人) | % | n(人) | % | n(人) | % | n(人) | % | n(人) | % | n(人) | % | n(人) | % | n(人) | % | | |
| 全体 | 99 | 41.8 | 60 | 25.3 | 94 | 39.7 | 80 | 33.8 | 48 | 20.3 | 33 | 13.9 | 15 | 6.3 | 49 | 20.7 | 237 | |
| 学籍 | 学部生 | 3 | 37.5 | 1 | 12.5 | 0 | 0.0 | 1 | 12.5 | 2 | 25.0 | 1 | 12.5 | 3 | 37.5 | 1 | 12.5 | 8 |
| | 博士課程前期 | 37 | 36.3 | 28 | 27.5 | 37 | 36.3 | 34 | 33.3 | 19 | 18.6 | 13 | 12.7 | 3 | 2.9 | 21 | 20.6 | 102 |
| | 博士課程後期 | 42 | 50.6 | 19 | 22.9 | 36 | 43.4 | 27 | 32.5 | 18 | 21.7 | 12 | 14.5 | 8 | 9.6 | 17 | 20.5 | 83 |
| | 研究生 | 6 | 37.5 | 4 | 25.0 | 9 | 56.3 | 5 | 31.3 | 3 | 18.8 | 2 | 12.5 | 1 | 6.3 | 5 | 31.3 | 16 |
| | 特別聴講学生 | 10 | 37.0 | 7 | 25.9 | 11 | 40.7 | 13 | 48.1 | 6 | 22.2 | 5 | 18.5 | 0 | 0.0 | 5 | 18.5 | 27 |
| | その他 | 1 | 100.0 | 1 | 100.0 | 1 | 100.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 |
| 私費・国費 | 私費 | 71 | 55.0 | 45 | 34.9 | 45 | 34.9 | 50 | 38.8 | 24 | 18.6 | 20 | 15.5 | 7 | 5.4 | 18 | 14.0 | 129 |
| | 国費 | 19 | 37.3 | 11 | 21.6 | 23 | 45.1 | 14 | 27.5 | 15 | 29.4 | 8 | 15.7 | 5 | 9.8 | 12 | 23.5 | 51 |
| | 政府派遣 | 5 | 45.5 | 2 | 18.2 | 6 | 54.5 | 5 | 45.5 | 2 | 18.2 | 2 | 18.2 | 2 | 18.2 | 1 | 9.1 | 11 |
| | その他 | 4 | 8.7 | 2 | 4.3 | 20 | 43.5 | 11 | 23.9 | 7 | 15.2 | 3 | 6.5 | 1 | 2.2 | 18 | 39.1 | 46 |
| 専門 | 理系 | 47 | 39.8 | 25 | 21.2 | 54 | 45.8 | 37 | 31.4 | 20 | 16.9 | 8 | 6.8 | 10 | 8.5 | 31 | 26.3 | 118 |
| | 文系 | 41 | 46.1 | 31 | 34.8 | 30 | 33.7 | 34 | 38.2 | 20 | 22.5 | 19 | 21.3 | 3 | 3.4 | 12 | 13.5 | 89 |
| | その他 | 11 | 36.7 | 4 | 13.3 | 10 | 33.3 | 9 | 30.0 | 8 | 26.7 | 6 | 20.0 | 2 | 6.7 | 6 | 20.0 | 30 |

この分析結果から、国費奨学金を受給している学生は私費留学生と比較して経済的な困りごとが少ないなど、学生の困りごとはそれぞれの属性や状況によって異なるが、特に経済的な問題やことばや習慣に関する問題は多くの学生に共通していることが見て取れる。

4.2 困ったことがあるときにはおもに誰に相談しますか？(複数回答可)

【回答者全体】

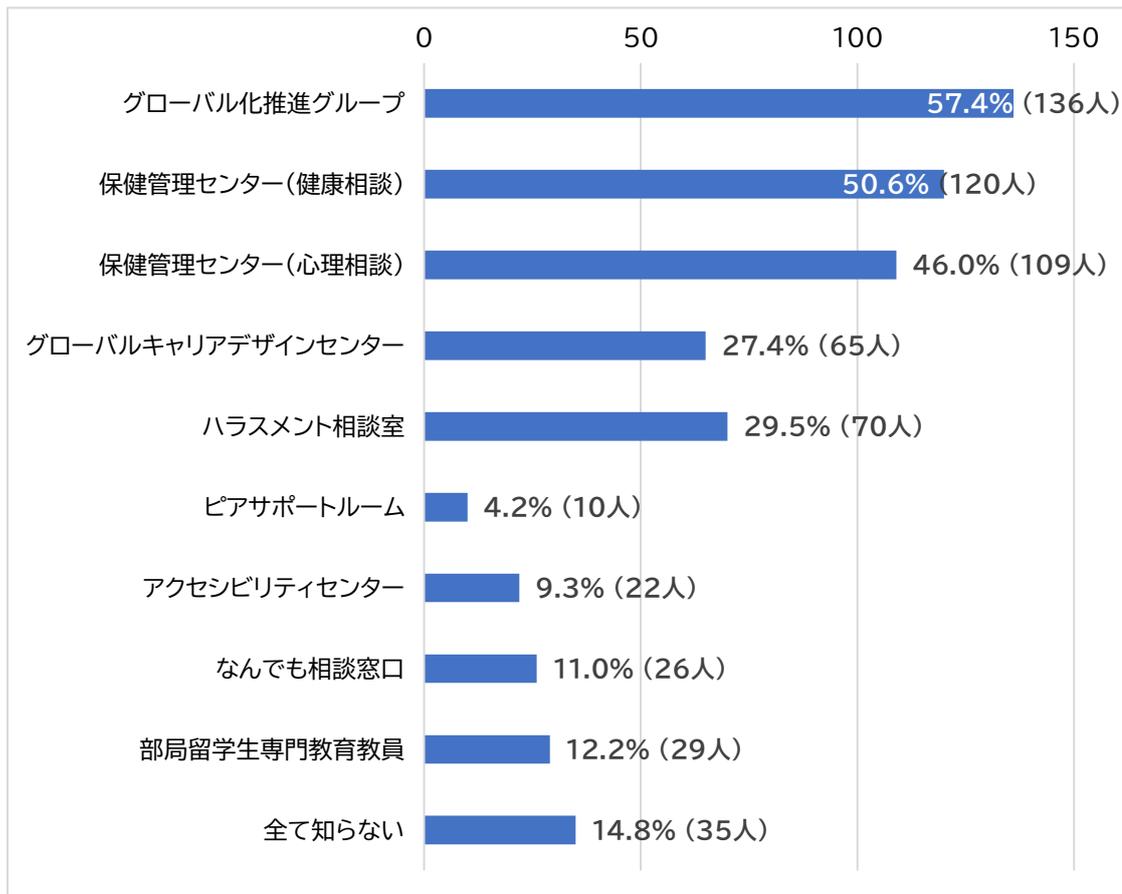


例年同様、相談先として最も多いのが友人及び家族となった。本設問については、属性別の大きな違いは見られなかった。

また、今年度見られた大きな変化として、教職員に相談すると回答した留学生の割合が3倍程度増加した(8.5%→30.8%)。

4.3 学生生活支援のための次の相談窓口があることを知っていますか？(複数回答可)

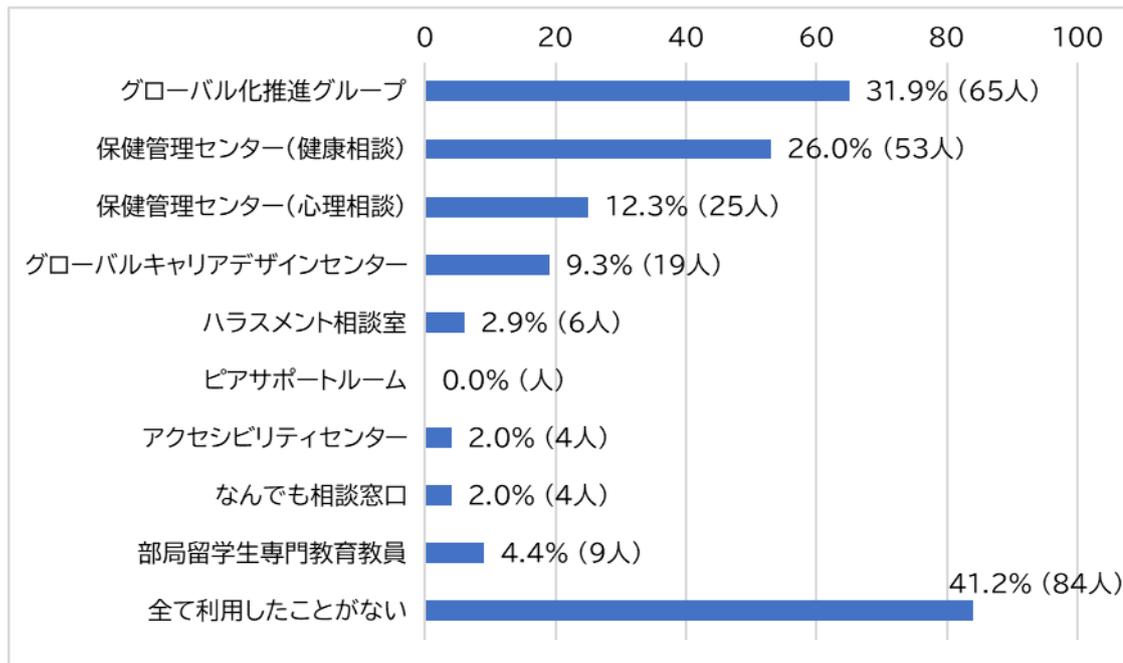
【回答者全体】



全ての相談窓口の認知度が昨年度と比較して増加した。特に、グローバル化推進グループ(現 留学交流グループ)の認知度(38.0%→57.4%)、保健管理センター(健康相談)の認知度(8.5%→50.6%)、保健管理センター(心理相談)の認知度(14.1%→46.0%)、グローバルキャリアデザインセンターの認知度(2.8%→27.4%)、ハラスメント相談室の認知度(3.5%→29.5%)については大幅な増加が見られた。一方で、相談窓口を「全て知らない」と回答した学生の留学生の割合は微減(16.9%→14.8%)に留まった。

4.4 学生生活支援のための次の相談窓口を利用したことがありますか？(複数回答可)

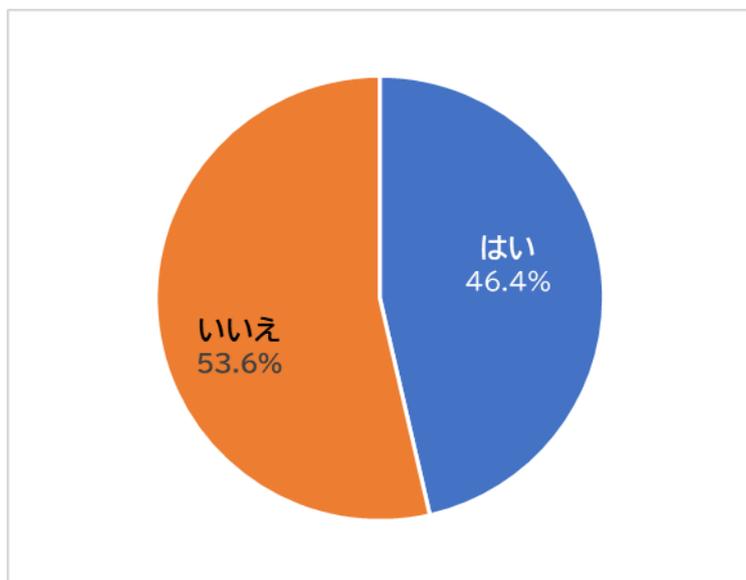
【回答者全体】



昨年度に比べ、各相談窓口の利用率がそれぞれ増加した。前設問と同様に、グローバル化推進グループ(現 留学交流グループ)(27.3%→31.9%)、保健管理センター(健康相談)(14.7%→26.0%)、保健管理センター(心理相談)(3.5%→12.3%)、グローバルキャリアデザインセンター(2.1%→9.3%)、ハラスメント相談室(0.7%→2.9%)については特に増加が見られた。

4.5 あなたは日本の企業への就職を希望していますか？(有効回答 410)

【回答者全体】



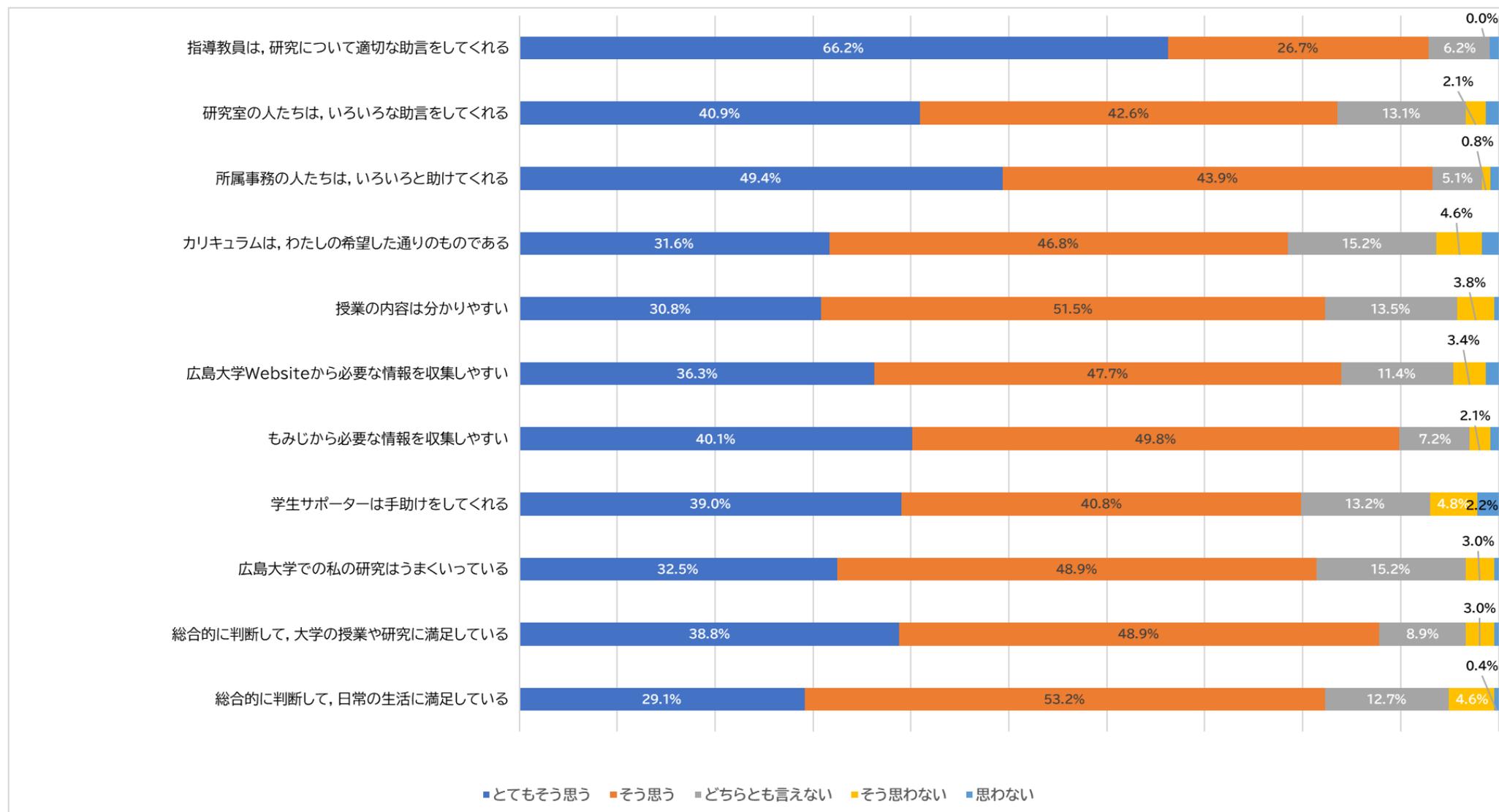
回答者全体のうち、46.4%が日本企業への就職を希望しており、昨年度の 58.5%から減少した。数値の上下には、留学生の出身国の労働市場や景気の影響している可能性もある。

| | | はい | | いいえ | | 計 |
|-------|--------|------|------|------|-------|------|
| | | n(人) | % | n(人) | % | n(人) |
| 全体 | | 110 | 46.4 | 127 | 53.6 | 237 |
| 学籍 | 学部生 | 5 | 62.5 | 3 | 37.5 | 8 |
| | 博士課程前期 | 48 | 47.1 | 54 | 52.9 | 102 |
| | 博士課程後期 | 34 | 41.0 | 49 | 59.0 | 83 |
| | 研究生 | 9 | 56.3 | 7 | 43.8 | 16 |
| | 特別聴講学生 | 14 | 51.9 | 13 | 48.1 | 27 |
| | その他 | 0 | 0.0 | 1 | 100.0 | 1 |
| 私費・国費 | 私費 | 68 | 52.7 | 61 | 47.3 | 129 |
| | 国費 | 28 | 54.9 | 23 | 45.1 | 51 |
| | 政府派遣 | 4 | 36.4 | 7 | 63.6 | 11 |
| | その他 | 10 | 21.7 | 36 | 78.3 | 46 |
| 専門 | 理系 | 50 | 42.4 | 68 | 57.6 | 118 |
| | 文系 | 51 | 57.3 | 38 | 42.7 | 89 |
| | その他 | 9 | 30.0 | 21 | 70.0 | 30 |

全体的な傾向としては、日本企業への就職を希望しない学生の方が多いが、特に国費留学生や文系の留学生では希望する割合が高い結果となった。

5. 広島大学における学習、生活に関する満足度

広島大学に関する以下の内容について、あてはまる回答の数字を選択してください。



例年と比べて大きな傾向の変化は見られないものの、授業内容への満足度、広島大学ウェブサイトからの情報収集、学生サポーターからの手助け、大学の授業や研究に対する満足度、日常生活に対する満足度の5つ回答項目で「そう思わない」と回答した留学生の割合が昨年度より増加した。全体的に令和5年度の調査結果では「とてもそう思う」と回答した割合が減少し、「そう思う」「どちらとも言えない」と回答した割合が増加している傾向が見られ、広島大学での学生生活に高い満足度を持っている回答者が減少したことがうかがえる。

留学生満足度の平均値経年比較(※5.0が最も満足度が高く、1.0が最も低い)

| | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | |
|---------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----------------------------|
| | | | | | | | | | | | | 前年度との比較 (0.05ポイント以上の変化) |
| 指導教員は、研究について適切な助言をしてくれる | 4.40 | 4.43 | 4.34 | 4.36 | 4.52 | 4.47 | 4.52 | 4.57 | 4.59 | 4.55 | 4.57 | 変化なし |
| 研究室の人たちは、いろいろな助言をしてくれる | 4.00 | 4.08 | 4.11 | 4.02 | 4.12 | 4.05 | 4.13 | 4.17 | 4.18 | 4.65 | 4.20 | ↓ |
| 所属事務の人たちは、いろいろと助けてくれる | 4.21 | 4.25 | 4.32 | 4.34 | 4.35 | 4.31 | 4.36 | 4.32 | 4.38 | 4.37 | 4.40 | 変化なし |
| カリキュラムは、私の希望した通りのものである | 3.73 | 3.75 | 3.89 | 3.96 | 4.03 | 4.01 | 3.98 | 4.06 | 4.16 | 4.51 | 4.02 | ↓ |
| 授業の内容はわかりやすい | 3.76 | 3.76 | 3.88 | 3.84 | 3.93 | 3.99 | 3.91 | 4.08 | 4.15 | 4.25 | 4.08 | ↓ |
| 広島大学Websiteから必要な情報は収集しやすい | 3.83 | 3.86 | 3.99 | 3.99 | 4.03 | 4.06 | 4.12 | 4.09 | 4.07 | 4.28 | 4.14 | ↓ |
| もみじから必要な情報は収集しやすい | - | - | - | 4.12 | 4.17 | 4.20 | 4.26 | 4.20 | 4.20 | 4.21 | 4.26 | ↑ |
| 学生サポーターは手助けをしてくれる | 3.88 | 3.86 | 4.08 | 4.02 | 4.00 | 3.99 | 3.98 | 3.97 | 3.87 | 4.32 | 4.10 | ↓ |
| 広島大学での私の研究はうまくいっている | 3.93 | 3.87 | 3.92 | 3.96 | 4.04 | 4.00 | 4.09 | 4.03 | 4.10 | 4.13 | 4.10 | 変化なし |
| 総合的に判断して、大学の授業や研究に満足している | 4.11 | 4.12 | 4.10 | 4.16 | 4.14 | 4.17 | 4.22 | 4.21 | 4.23 | 4.25 | 4.23 | 変化なし |
| 総合的に判断して、日常生活に満足している | 4.03 | 4.03 | 4.02 | 4.02 | 3.99 | 3.98 | 4.05 | 3.95 | 3.99 | 4.40 | 4.06 | ↓ |

「とてもそう思う」と回答した留学生の割合が低下したことで、昨年度と比較して満足度は全体的に低下している。一方で、もみじウェブサイトに対する満足度は上昇が見られた。

6. 自由記述(質問項目「なにか意見がありましたら、書いてください。」)

「特になし」等の回答を除き 27 名が回答。代表的な内容の回答を原文のまま一部抜粋して以下にまとめるとめる。

(生活環境・利便性)

- ・For daily life, I think Hiroshima University should provide more supporter at COOP for accommodation/housing with English and have more list of them like Japanese students. It's difficult to live in the new environment without that.
- ・There is no amenity available for international students, particularly at Kasumi campus. If there is a fitness/gym or sports facility designated for university students or staff at a reasonable price, it would support their well-being physically and mentally. Also, there is no activity organized in which the international students can attend on the Kasumi campus. Only the Saijo campus advertises some events, but it is quite far and takes a lot of time to commute, preventing participation from other campuses. Hope you take it into consideration and implement measures to address these concerns.

(経済的負担)

- ・やっぱり経済的な負担が重いです
- ・Please increase the stipend amount.
- ・I wish there were more funding options or scholarships for the JD(*) students at Hiroshima - Leipzig because they don't get any benefit from either of the side.

*JD: Joint Degree

(教育・研究指導)

- ・My supervisor is genuinely a good and kind person but I feel he is over-encumbered by the amount of clerical and non-teaching jobs he receives. Also, the overall "quantity" of the supervision (intended as the number of times they tried to reach out and ask about improvements) was very scarce. I think this was done also with good intentions, maybe in the attempt to leave more space/freedom to the student, but it results in a "non" supervision. I want to be clear that this also has a lot to do with my nature of being shy and not asking

for direct help.

・For a doctoral student, I think the necessary class is not enough and match with the degree, it's too general and weak. If you have no requirements of Japanese language, the class will be more international than present that mostly is Japanese.

・図書館がもっと多くの資料を収録することができることを望んで、特にいくつかの古書、多くの広島大学図書館の中になくて、他の大学図書館に行って借りに行く必要があって、手続きはとても面倒で、お金もかかります。

・I need support from Japanese people who can speak English. Some announcements should be provided in English because we are foreigners, and we cannot read and speak in Japanese. It isn't easy to understand the meaning of this necessary documentation.

・I have only one comment regarding classes. Sometimes classes are in Japanese only and no English translation is provided even in the handouts, and this is difficult. I got a B score in one course due to that. I hope that professors try to provide English translation.

・Including some more English courses and English support can really be helpful for International students.

(大学からの情報伝達)

・During my studies, information was sent via many channels (Momiji; blackboard; skype; Microsoft teams; university email; personal email). Having a single channel and having separate English + Japanese copies of all information to ease communications would be a huge improvement.

・個人掲示や授業掲示だけでなく全ての掲示板が更新された時に、通知メールを届くようにしてほしいです。

(ポジティブなフィードバック)

・素晴らしい大学です。ここで私の博士生活を送りまして、よかったですと思います。

・I'm grateful for the convenience of student rooms, dining areas, accessible bathrooms, and prayer rooms, allowing me to focus on academics.

・Had an excellent time at Hiroshima University. A big thank you to all the students, professors and staff at the university.

・I am so satisfied the Hiroshima university.

・広島大学の皆様へ、この度は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。バングラデシュよ

り参りました私に対し、温かく丁寧なご対応を賜り、深く感謝しております。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

・Hiroshima University is a very great place to study and gain the much needed skills and knowledge to contribute to society as a whole. Its geographical location which is situated outside Hiroshima city does contribute to excessive learning and a great focus and learning environment without outside disturbances and city distractions. I am very privileged to have attended Hiroshima University given the rich history and culture of the university and Hiroshima as whole. The diverse students and great professors and academic staff do make my stay and study here in Hiroshima University wonderful and pleasant.